

容量確保 裏技

休止状態の OFF：10GB～15GB 増やすことが出来る

スリープはメモリにデータを書き込むが休止状態はCドライブにデータを書き込むもので、休止を使うコマンドは表に出ていない

1. win マークの上で右クリック➡管理者ターミナル
2. コマンド貼付け

```
powercfg.exe /hibernate off
```

```
enter
```

WinSxS ウィン・エス・バイ・エス システムの部品が保管されている場所の不要なファイルを削除する

1. 管理者ターミナルを開く win マークの上で右クリック
2. ターミナル（管理者）
3. コマンド貼付け

```
Dism /Online /Cleanup-Image /AnalyzeComponentStore
```

4. 分析が始まる

3.63GB 確保期待

```
コンポーネント ストア の 実際のサイズ : 11.70 GB

Windows と 共有 : 8.06 GB
バックアップおよび無効な機能 : 3.63 GB
キャッシュおよび一時的なデータ : 0 bytes

前回のクリーンアップ日 : 2026-01-25 12:35:48

再利用できるパッケージの数 : 2
コンポーネント ストアのクリーンアップを推奨 : はい

操作は正常に完了しました。
PS C:\Users\owner> |
```

5. コマンド貼付け

```
Dism.exe /Online /Cleanup-Image /StartComponentCleanup /ResetBase
```

6. 最適化処理 7～8分かかる

```
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新機能と改善のために最新の PowerShell をインストールしてください!https://aka.ms/PSWindows

PS C:\Users\owner> Dism.exe /Online /Cleanup-Image /StartComponentCleanup /ResetBase

展開イメージのサービスと管理ツール
バージョン : 10.0.26100.5074

イメージのバージョン : 10.0.26200.7462

[=====100.0%=====]
操作は正常に完了しました。
PS C:\Users\owner> |
```

不要なファイルの定期的自動削除にする設定（通常ONだと思われるが）

1. 設定⇒システム⇒ストレージ
2. 「ストレージセンサー」⇒ON

項目クリックで過去の実行実績を見ることが出来る

バックグラウンドで動くサービスを止めてメモリ消費削減&スピードアップ

全てサービス画面で行う

その前に復元ポイントを作成しておき不具合発生のもしかに備える

- ・スタート→設定→システム→バージョン情報（一番下）→バージョン情報の中程の『システムの保護』をクリック
- ・ローカルディスクCを選択して「構成(0)」をクリック
- ・「システム保護対象 ローカル ディスク（C）」が表示される
- ・「システムの保護を有効にする」にチェックを入れる→OK
- ・システムのプロパティ画面の「システム保護が有効になっているドライブの復元ポイントを今すぐ作成します」の『作成』をクリック
- ・「システムの保護」画面表示→任意の名前入力→作成クリック
- ・システムのプロパティ画面 OK

1. Win+R

2. コマンド貼付け `services.msc`

① **SysMain**（体感効果大！）

- ・Dクリック→サービスの停止→スタートアップの種類▼→無効→OK

以下でも同じ操作

② **Connected Devices Platform Service**（プライバシー/バッテリー）

③ **Windows Error Reporting Service**

④ **Windows Media Player Network Sharing Service**

⑤ **Windows Biometric Service**

⑥ **Remote Registry**（セキュリティ強化）

Antimalware Service Executable のメモリ使用量が多い場合は「最上位での特権で実行する」を OFF にする

1. Win+R
2. 「taskschd.msc」入力
3. タスクスケジューラアプリ>Microsoft>Windows>Windows Defender まで潜って、「Windows Defender Scheduled Scan」をダブルクリック
4. 最上位の特権で実行するのチェックを外す → OK

配信の最適化を OFF にする（メモリ消費対策） 確認だけになる可能性大

1. 設定 → Windows Update → 詳細オプション → 配信の最適化 →
2. 「他のデバイスからのダウンロードを許可する」 OFF にする

Cドライブが一杯になっている状態で Adibe や PowerPoint の動画などの office を多用している場合のチェック（キャッシュの削除）

1. エクスプローラー → PC → Cドライブ → user → AppData
隠しファイル表示になっていないと AppData 見えない
表示 → 表示 → 隠しファイルにチェック
2. AppData → Local → MicroSoft → Office → 16.0 → OFFICEfilecache → O → O
3. 表示フォルダのプロパティからサイズ確認
多い場合はこのフォルダを削除する

デバイスマネージャーで Intel(R) System Usage Repot のメモリ使用が多い場合、これは「PC 利用状況のデータをインテルへ送信するプログラム」なので削除すればメモリ使用がなくなる

1. スタートを右クリック → インストールされているアプリ
2. Intel(R) Computing Improvement Program 79.9MB
3. アンインストール → はい

SSD であることが前提ですが仮想メモリを設定することでメモリ不足を解消出来ると云われています。通常パソコン使用時にメモリ数値を見ていませんから効果は不明です

1. 設定➡システム➡バージョン情報➡システムの詳細設定

[関連リンク](#) [ドメインまたはワークグループ](#) [システムの保護](#) [システムの詳細設定](#)

この画面で「実装 RAM」の数値確認

2. システムのプロパティ画面が開く
3. パフォーマンスの「設定」をクリック
4. パフォーマンスオプションの「詳細設定」をクリック
5. 「仮想メモリ」の「変更」をクリック
6. 「すべてのドライブのページング-----」チェックを外す
7. 「カスタムサイズ」にチェックを入れる

実装サイズ✖1024✖1.5 8GB なら 12288MB
16GB なら 24576MB

8. 「初期サイズ」「最大サイズ」 同じ数値入力 ➡設定
9. OK ➡OK ➡OK
10. 再起動